

# 図 版



調査参加者集合写真（平原7号墳墳丘東側にて）2014/9/1



1 2号墳の現状（西から）



2 3号墳の現状（南東から）



3 6号墳の現状（北西から）



1 東1トレンチ全景（北東から）



2 東1トレンチ段築テラス面付近断面（南から）



1 東1トレンチ段築テラス面転落石状況（東から）



2 東1トレンチ段築テラス面完掘状況（東から）



3 東1トレンチ段築テラス面（東から）



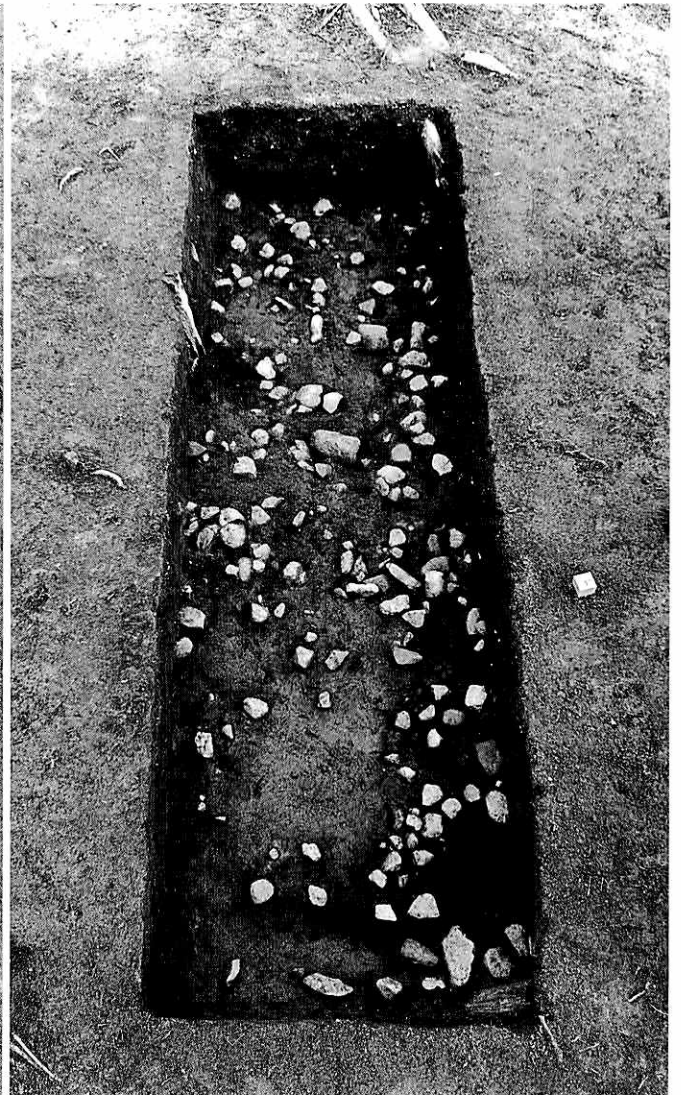
1 東1トレンチ全景（上が西）



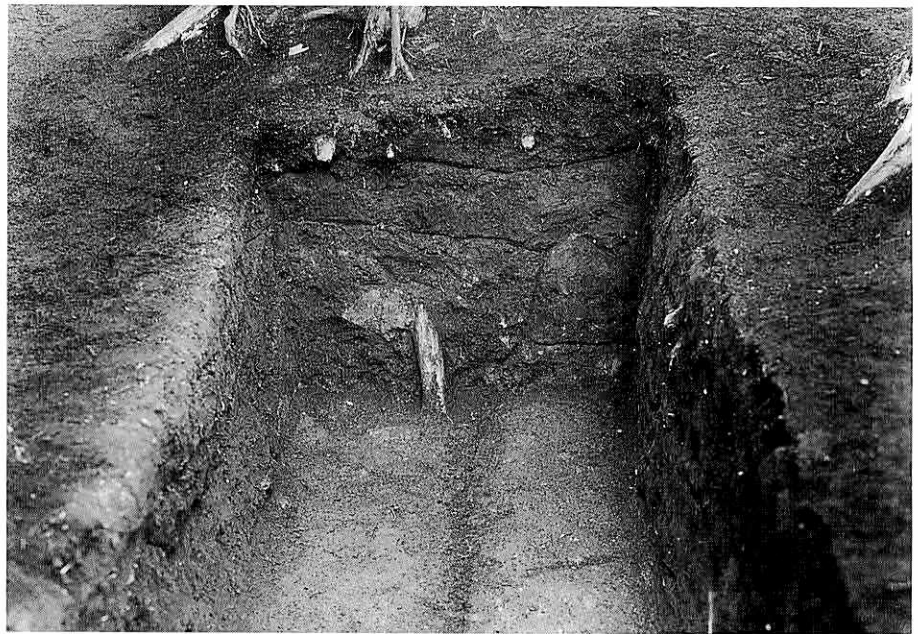
1 墳頂トレンチ全景（上が南）



2 墳頂トレンチ東区（東から）



3 墳頂トレンチ西区（西から）



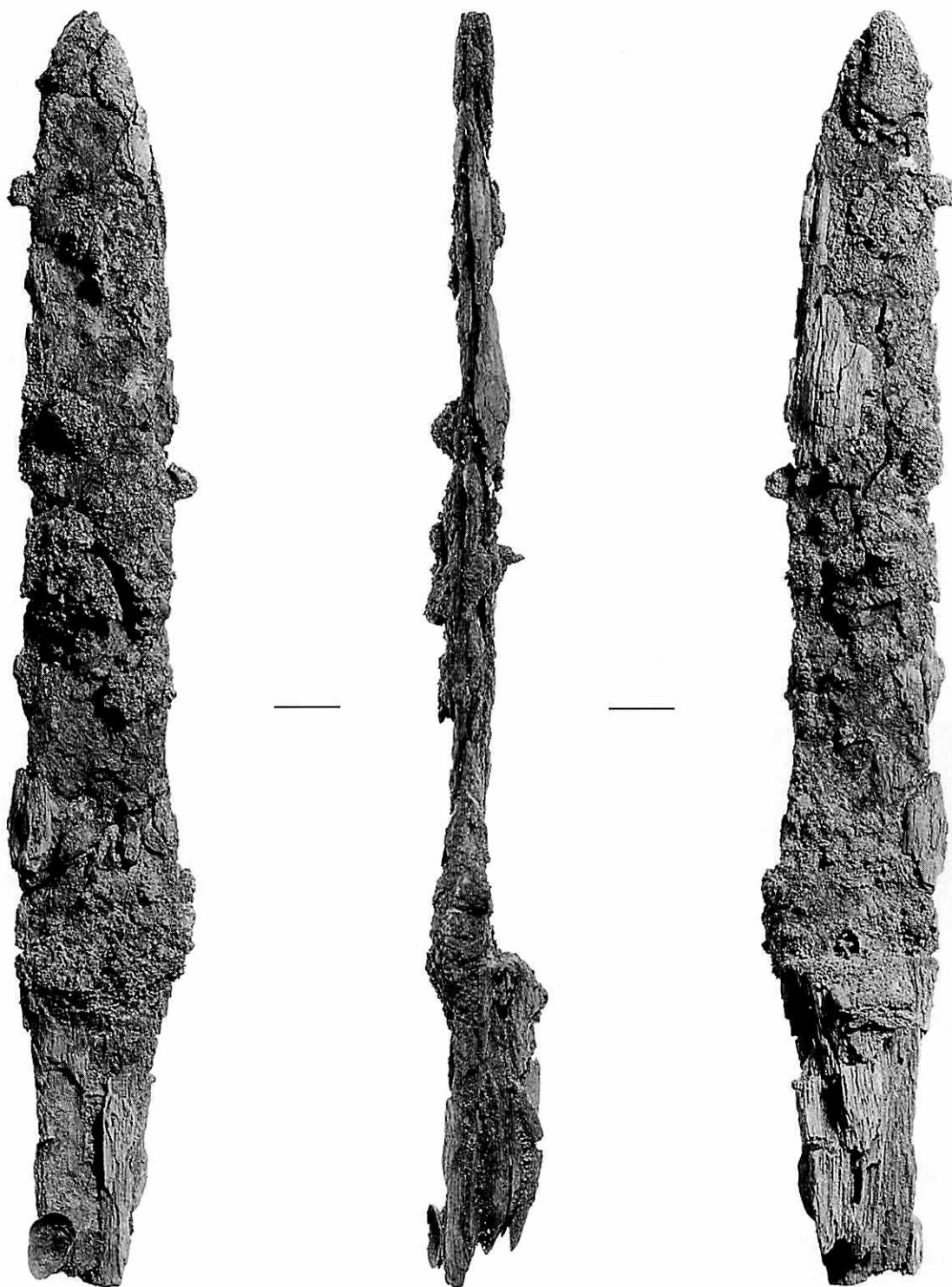
1 墳頂トレンチ東区西壁断面  
(東から)



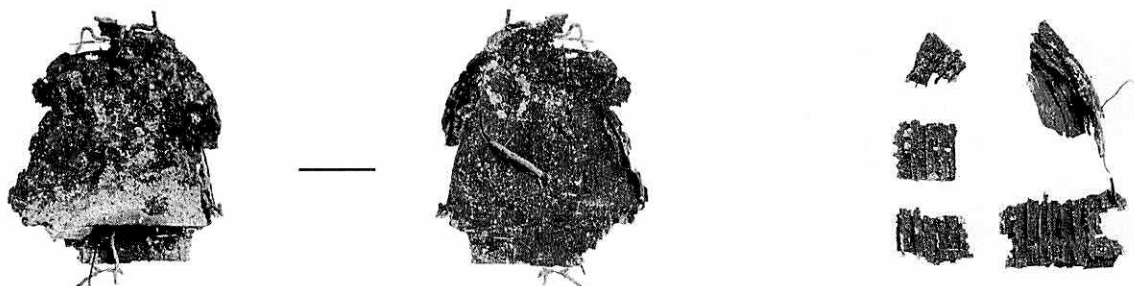
2 墳頂トレンチ東区南壁断面 (北から)



3 墳頂トレンチ西区北壁断面 (南から)

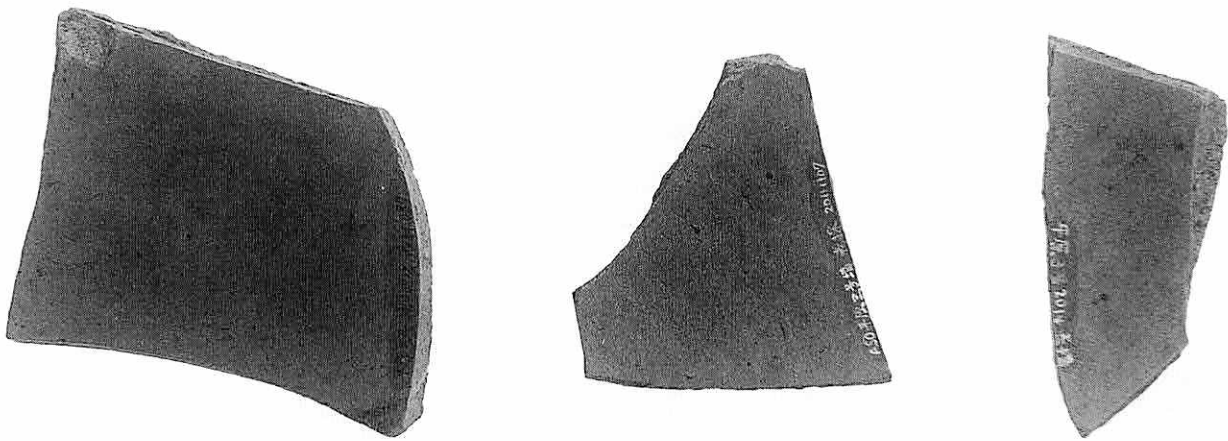
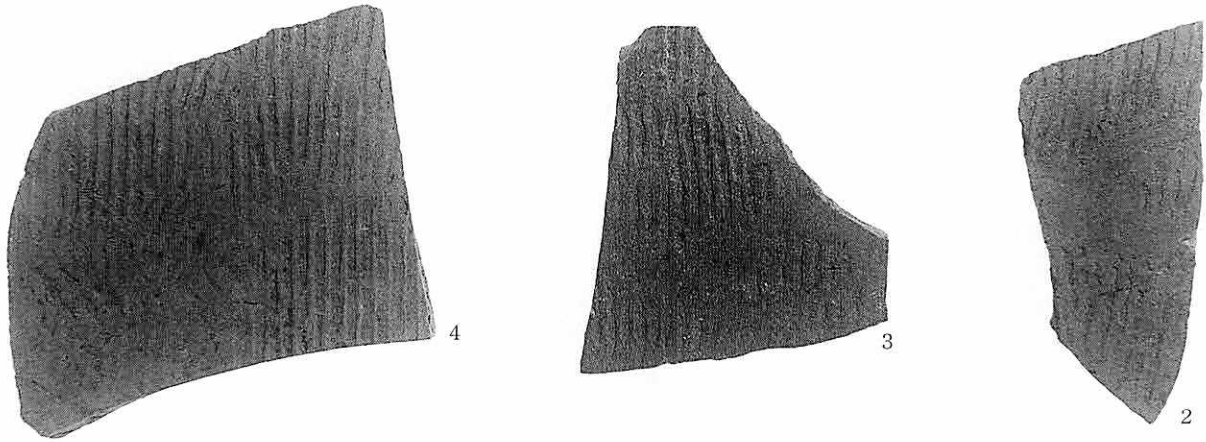


1 1号墳出土鉄剣

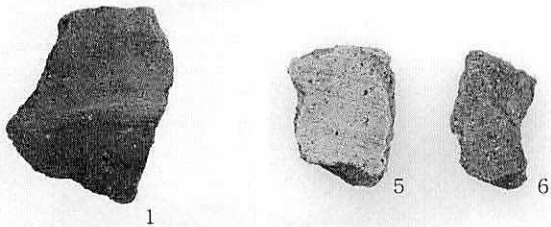


2 1号墳出土豎櫛 (左: 第26図掲載豎櫛 右: 豎櫛片の内面)

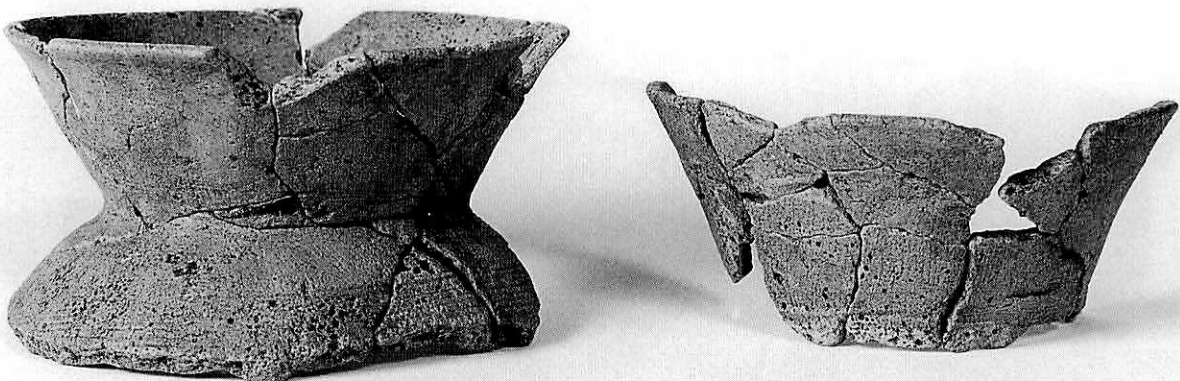




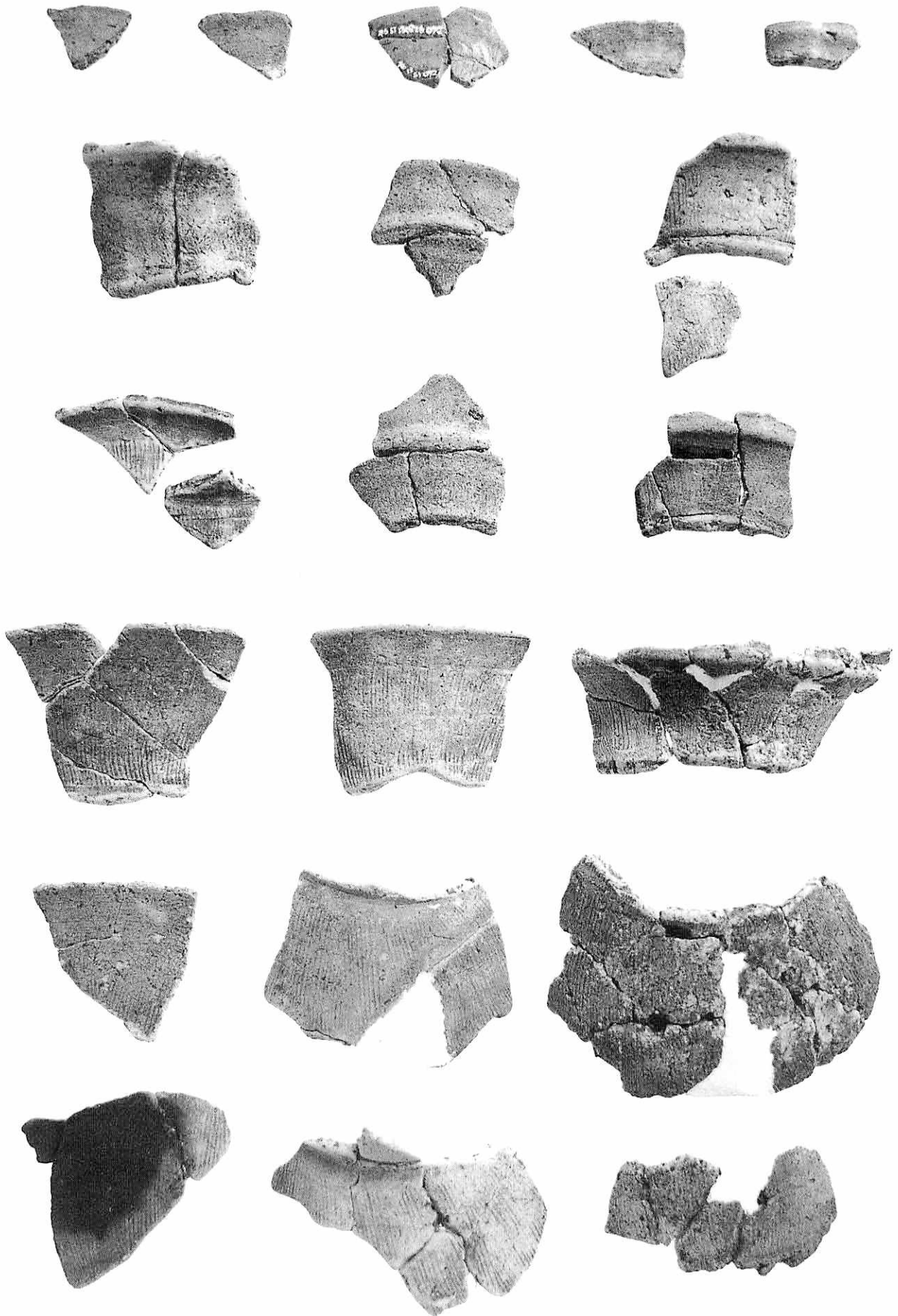
1 3号墳採集須恵器(上:外面 下:内面)



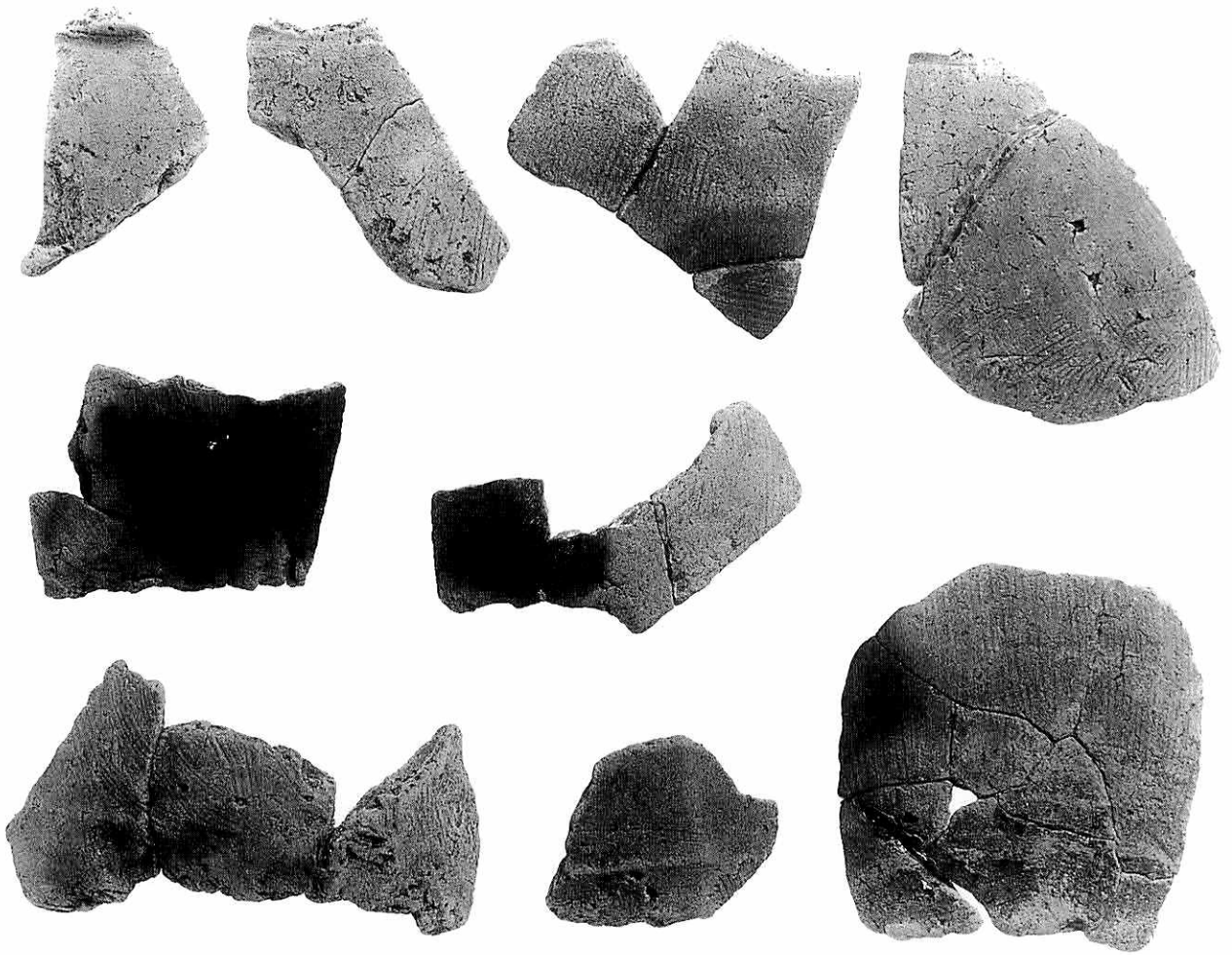
2 3号墳その他採集遺物(左:土師器 右:埴輪)



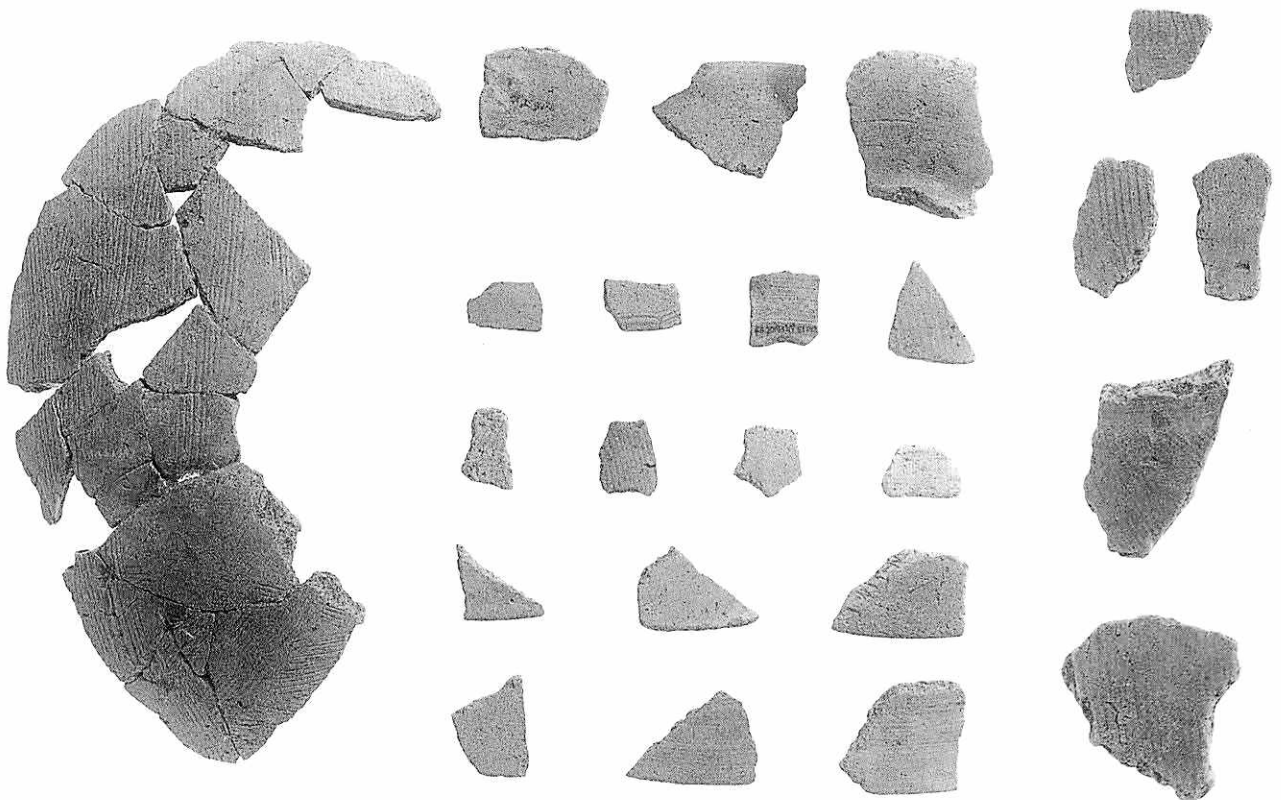
3 6号墳出土壺形埴輪(1)



1 6号填出土壺形埴輪(2)

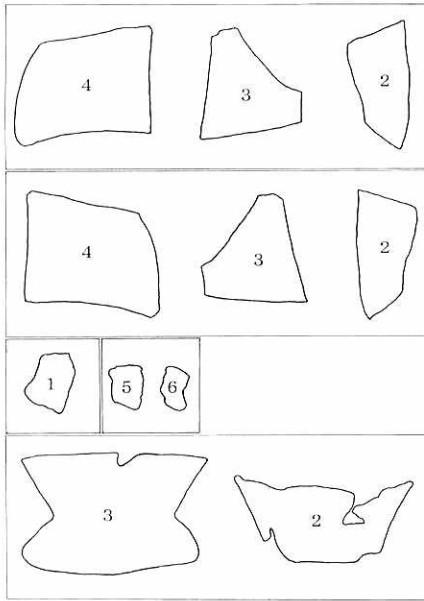


1 6号墳出土壺形埴輪(3)

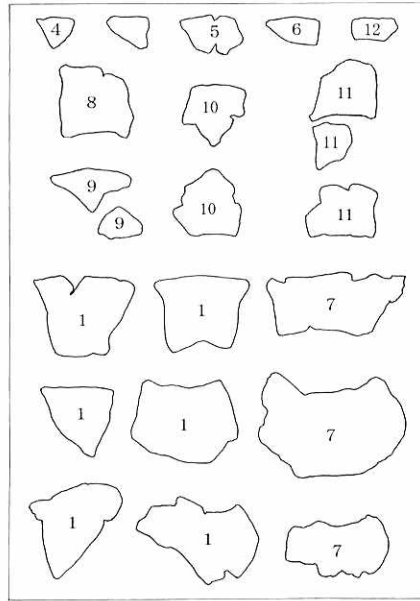


2 6号墳その他出土遺物(左:土師器 右:赤色顔料塗布壺形埴輪)

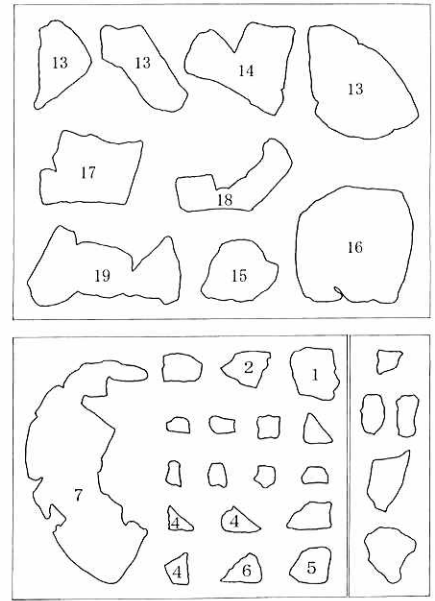
図版 8



図版 9



図版10



付図 図版写真と実測図番号の対応

報告書抄録

ふりがな	ひらばるこふんぐんちょうさほうこく3								
書名	平原古墳群調査報告3								
シリーズ名	考古学研究室報告								
シリーズ番号	50								
編集者名	興嶺 友紀也 (よみね ゆきや) 入江 由真 (いりえ ゆま)								
発行機関	熊本大学文学部考古学研究室								
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40-1 TEL. 096-344-2111 (代表)								
発行年月日	2015年3月31日								
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
ひらばるこふんぐん 平原古墳群	くまもとけん 熊本県 あそし 阿蘇市 やまだ 山田 あざひらばる 字平原	43214	068	32° 58' 58"	131° 05' 03"	2014/08/18~2014/09/12 計26日間	19.1m <sup>2</sup>	学術調査	
所収遺跡	種別	時代		遺構		遺物	特記事項		
平原1号墳	古墳	古墳時代中期前葉 ~中期中葉		箱式石棺		人歯・頭骨・四肢骨 鉄剣・堅楯・土師器 赤色顔料塗布石材	石棺構造の確認		
平原2号墳	古墳	不明		葺石			墳丘の現状の確認		
平原3号墳	古墳	古墳時代中期後葉		葺石		埴輪・土師器・須恵器			
平原6号墳	古墳	古墳時代中期中葉		葺石		壺形埴輪 土師器	段築1段目・2段目テラス面の検出と墳頂平坦面構造の確認		
備考	北緯と東経は基準点H1の世界測地系による数値である。								

## 2014年度 考古学研究室の足跡

- 4月1日 学部生5名進学、大学院博士前期課程3名入学
- 4月19日 熊本大学埋蔵文化財調査センター開所式
- 8月8日～8月11日 文学部・大学院集中講義「弥生時代における土器生産の展開」  
大阪大谷大学文学部准教授 長友朋子先生
- 6月6日 学長裁量経費による「本学が所有する考古学資料の教育的活用と地域への還元」  
事業の開始
- 8月18日～9月12日 熊本県阿蘇市にて平原6号墳発掘調査および平原2・3号墳測量調査
- 8月26日～9月9日 小畑弘己教授 モンゴルヘンティ県アウラガ遺跡の発掘調査への参加  
ドルノト県タマサグ・ブラグ遺跡の踏査
- 10月9日 沖縄県伊江村ナガラ原東貝塚出土遺物を伊江村教育委員会へ返却
- 12月1日 化学実験室から手広遺跡、サモト遺跡出土遺物を搬出し、共用棟黒髪3に仮置
- 9月20日～9月23日 大学院集中講義「文化財保護行政の現状と課題」  
公益財団法人文化財虫菌害研究所 和田勝彦先生
- 1月13日 修士論文提出  
留野優兵「南部九州における縄文時代後晩期の生業に関する研究  
—遺跡立地と石器組成の相関から—」  
卒業論文提出  
片山弘喜「円筒下層式土器の研究」  
中村聖美「縄文時代早期の壺形土器研究」  
富高敦史「東九州における製塩土器の研究」  
山元瞭平「古代宇城産須恵器の生産と流通」
- 1月15日 手広遺跡、サモト遺跡出土遺物の整理開始
- 2月10日 卒業論文・修士論文口頭試問会
- 3月25日 学位授与式 学部生4名、大学院生1名を送る
- 3月31日 『考古学研究室報告』第50集刊行

## 考古学研究室報告 第 50 集

発行年月日 2015年 3 月31日

編集・発行 熊本大学文学部考古学研究室  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目40-1  
Tel. 096-344-2111 (代表)

印 刷 シモダ印刷株式会社  
〒862-0951 熊本市中央区上水前寺 2 丁目16-16  
Tel. 096-383-5512  
Fax. 096-386-5454